

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-190115

(P2005-190115A)

(43) 公開日 平成17年7月14日(2005.7.14)

(51) Int. Cl.⁷

G06F 17/60

F I

G06F 17/60 1 3 2
 G06F 17/60 1 6 2 A
 G06F 17/60 3 2 6
 G06F 17/60 Z E C

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2003-429909 (P2003-429909)
 (22) 出願日 平成15年12月25日 (2003.12.25)

(71) 出願人 000000295
 沖電気工業株式会社
 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
 (74) 代理人 100079119
 弁理士 藤村 元彦
 (72) 発明者 盛田 祐代
 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電
 気工業株式会社内
 (72) 発明者 魚見 勇治
 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電
 気工業株式会社内
 (72) 発明者 相原 諭
 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電
 気工業株式会社内

最終頁に続く

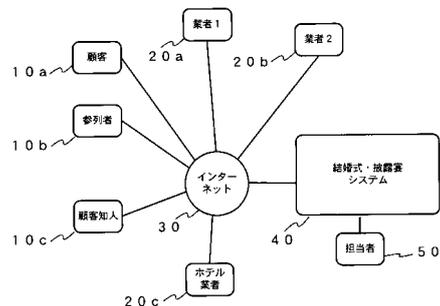
(54) 【発明の名称】 結婚式等のイベントのためのイベント情報提供装置及びシステム

(57) 【要約】

【目的】 特定のイベントに関連するサービス適用において、当該イベントを始めて経験するとか或いは時間的に専念できない顧客においてもかかるイベントを容易に且つ効率的に達成可能とするイベント情報提供装置及びシステムを提供する。

【構成】 少なくとも1つのイベントの少なくとも種別、開催日時、開催場所及びスケジュールデータを含む情報データを提供するイベント情報提供装置であり、該開催日時迄に順に実行されるべき該イベントの準備のための複数の準備作業の予定日時を暦に対応付けたスケジュールデータを作成し保持する。該スケジュールデータの準備作業の日時と現在日時との相対的な時間変化に従って、該複数の準備作業のうちの何れかの準備作業に関連する内容を選択的に表示する。本発明によるシステムは、かかるイベント情報提供装置とこれに接続された少なくとも1つの端末措置により構成される。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

少なくとも 1 つのイベントの少なくともイベント種別、開催日時及び開催場所を含む情報データを提供するイベント情報提供装置であって、

前記開催日時迄に順に実行されるべき前記イベントの準備のための複数の準備作業とこれに対応する予定日時とを含むスケジュールデータを作成し保持する保持手段と、

前記準備作業の予定日時と現在日時との相対的な時間変化に従って、前記複数の準備作業のうちの何れかを選択的に表示する表示手段と、

を含むことを特徴とするイベント情報提供装置。

【請求項 2】

変更要求入力に応じて、前記スケジュールデータの内容を変更する変更手段を更に含むことを特徴とする請求項 1 記載のイベント情報提供装置。

【請求項 3】

前記表示手段は、前記予定日時が現在日時以前である場合に、前記予定日時に対応する準備作業の実行を促す催告データを選択的に表示することを特徴とする請求項 1 記載のイベント情報提供装置。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの端末装置と、少なくとも 1 つのイベントの少なくともイベント種別、開催日時及び開催場所を含む情報データを前記端末装置に提供するイベント情報提供装置と、を含むイベント情報提供システムであって、

前記開催日時迄に順に実行されるべき前記イベントの準備のための複数の準備作業とこれに対応する予定日時とを含むスケジュールデータを作成し保持する保持手段と、

前記準備作業の予定日時と現在日時との相対的な時間変化に従って、前記複数の準備作業のうちの何れかを選択的に表示する表示手段と、

を含むことを特徴とするイベント情報提供システム。

【請求項 5】

変更要求入力に応じて、前記スケジュールデータの内容を変更する変更手段を更に含むことを特徴とする請求項 4 記載のイベント情報提供システム。

【請求項 6】

前記表示手段は、前記予定日時が現在日時以前である場合に、前記予定日時に対応する準備作業の実行を促す催告データを選択的に表示することを特徴とする請求項 4 記載のイベント情報提供システム。

【請求項 7】

前記端末装置に前記情報データの表示を許可する認証手段を更に含むことを特徴とする請求項 4 乃至 6 記載のイベント情報提供システム。

【請求項 8】

前記複数の準備作業に各々対応する複数の外部の業者システムの情報データを保持し、前記準備作業の表示に際してこれに対応する業者システムの情報データを付加して表示する手段を更に含むことを特徴とする請求項 4 乃至 6 記載のイベント情報提供システム。

【請求項 9】

前記イベントの費用情報データを保持し、前記スケジュールデータの予定及び実績に応じて予定費用及び実績費用を計算する費用計算手段を更に含むことを特徴とする請求項 4 乃至 6 記載のイベント情報提供システム。

【請求項 10】

前記イベントの種別は、結婚式及び / 又は披露宴であることを特徴とする先行する請求項何れか 1 記載のイベント情報提供システム。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

10

20

30

40

50

本発明は、例えば結婚式及び披露宴の如き特定の行事、すなわちイベントの実行を予定する顧客に対して、当該イベントに関連する情報を提供するイベント情報提供装置及びシステムに関する。

【背景技術】

【0002】

インターネット等のネットワークを介した通信販売、音楽又は映像情報の有償配信等の様々の経済活動が広く行われている。一般消費者は、自宅のパソコン或いは外出先での携帯電話を介して、業者の提供するWebページを閲覧、業者とのメール通信を利用することにより、何時でも何処でもサービス及び物に対する経済活動をなすことが可能となっている。

10

【0003】

しかし消費者の立場にたつときに求めるニーズは様々である。1つの物品を購入するか一時期のみの宿泊先を予約するとか等の個別単発的な経済活動に限られず、様々の物又はサービスの適用を時間的にも長期にわたって更にはコンサルティング的な支援を伴うサービスの提供を希望するニーズがある。例えば、結婚式、披露宴等の冠婚葬祭の一連の行事に関わる様々のサービスをトータルに提供してくれるサービスが望まれるようになってきている。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかし、かかる一連の行事、すなわちイベントに関わるサービスの提供形態では、多岐複数のサービス内容を網羅的にWebページに表示して顧客の判断を待つのみでは、結婚式の如きイベントを始めて経験するとか或いは時間的に専念できない顧客においては判断に窮してかかるサービスの利用を断念するのが通常であり、顧客のニーズに十分答えるものではなかった。

20

【0005】

本発明の目的は、特定のイベントに関連するサービス適用において、当該イベントを始めて経験するとか或いは時間的に専念できない顧客においてもかかるイベントを容易に且つ効率的に達成可能とするイベント情報提供装置及びシステムを提供することである。

【課題を解決するための手段】

30

【0006】

本発明によるイベント情報提供装置は、少なくとも1つのイベントの少なくとも種別、開催日時、開催場所及びスケジュールデータを含む情報データを提供するイベント情報提供装置であり、該開催日時迄に順に実行されるべき該イベントの準備のための複数の準備作業の予定日時を暦に対応付けたスケジュールデータを作成し保持する保持手段と、該スケジュールデータの準備作業の日時と現在日時との相対的な時間変化に従って、該複数の準備作業のうちの何れかの準備作業に関連する内容を選択的に表示する表示手段とを含むことを特徴とする。

【0007】

本発明によるイベント情報提供システムは、少なくとも1つの端末装置と、少なくとも1つのイベントの少なくとも種別、開催日時、開催場所及びスケジュールデータを含む情報データを該端末装置に提供するイベント情報提供装置と、を含むイベント情報提供システムであり、該開催日時迄に順に実行されるべき該イベントの準備のための複数の準備作業の予定日時を暦に対応付けたスケジュールデータを作成し保持する保持手段と、該スケジュールデータの準備作業の日時と現在日時との相対的な時間変化に従って、該複数の準備作業のうちの何れかの準備作業に関連する内容を選択的に表示する表示手段とを含むことを特徴とする。

40

【発明の効果】

【0008】

本発明によるイベント情報提供装置及びシステムによれば、特定のイベントに関連する

50

情報データが例えばホームページの形式により提供される。該情報データには当該イベントを達成するためのスケジュールデータが含まれ、このスケジュールに規定される予定行動の進捗に応じて、該情報データの内容は顧客に適切な行動を促す内容に更新される。これにより、当該イベントに経験のない或いは十分な時間がない顧客においてもかかるイベントを容易に且つ効率的に該イベントを達成することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0009】

本発明の実施例について添付の図面を参照して詳細に説明する。

【0010】

図1は、本発明の実施例であり、結婚式・披露宴システム40を含むシステム全体の構成を示している。結婚式・披露宴システム40は、本発明によるイベント情報提供装置である。結婚式・披露宴システム40は、通常、結婚式、披露宴を挙げる結婚式場に設置されるサーバシステムであり、インターネット30に接続されて通常のIP(Internet Protocol)通信を可能として、通常のWebページの配信、メールの送受信を行う機能を有する。結婚式・披露宴システム40には、結婚式、披露宴を挙げる結婚式場において当該催しを担当する担当者が本システムに対する業務運用をなすための担当者端末50が接続される。本発明によるシステムは、イベント情報提供装置である結婚式・披露宴システム40と、複数の端末10a乃至10c、複数の端末20a乃至20c及び端末50とにより構成される。

10

【0011】

複数の端末10a乃至10c及び20a乃至20bがインターネット30を介して結婚式・披露宴システム40に接続されIP通信を行う。端末10a乃至10cの各々は、図示されるように結婚当事者たる顧客の端末、結婚式の参列者の端末又は結婚当事者の知人が使用する端末である。端末20a乃至20cは、ホテル宿泊施設等の業者が使用する端末である。これら端末20a乃至20cのうちの何れかの端末が当該業者の営業業務のため基幹的なコンピュータシステムであっても良い。複数の端末10a乃至10c及び20a乃至20bの各々は、通常のWebページを閲覧するブラウザ等の機能と、メールを送受信するメール機能を有し、通常のパーソナルコンピュータであっても、同様の機能を有する携帯電話、PDA(Personal Data Assistant)等の携帯情報端末であっても良い。

20

【0012】

図2は、図1に示される結婚式・披露宴システム40の詳細の構成を示している。結婚式・披露宴システム40においては、Webページを配信するWebサーバ42及びメールを集配信するメールサーバ43が適切なセキュリティを提供するファイアウォール41を介してインターネット30に接続される。結婚式・披露宴システム40は、更に、顧客登録部44と、スケジュール管理部45と、費用管理部46と、顧客情報登録DB47と、結婚式場共通情報DB48と、音楽・画像配信DB49とを含む。

30

【0013】

顧客登録部44は、顧客と結婚式場担当者との間で結婚式及び披露宴の挙げるの決定に基づいて、情報データとして顧客個別の専用ホームページを生成する機能と、この専用ホームページにアクセスするためのIDとパスワードを顧客に対して発行する機能を有する。顧客は、このIDとパスワードを用いて自身の端末10aを介して当該顧客専用の専用ホームページにアクセスすることができる。顧客は、また、このIDとパスワードを参列者及び知人に配布しても良い。これにより、参列者は自身の端末10bを用いて、知人は自身の端末10cを用いてこの専用ホームページを閲覧することができるようにしても良い。顧客登録部44は、更に、端末10aを介して顧客の希望によるスケジュール追加変更を登録する機能を有する。

40

【0014】

情報データとしての専用ホームページのコンテンツすなわち内容は、すくなくとも開催日時、種別及び場所の情報データを含む。専用ホームページには、更に、例えばカレンダー等の暦の形式により表示し得るスケジュールデータを含む。該スケジュールデータには、

50

当該イベントに必要な複数の準備作業（以下、作業と略称する）が結婚式場共通情報DB48に格納された標準的パターンから生成されて付加される。該複数の作業としては、例えば、打ち合わせの予約、参列者の登録、参列者の出欠管理、封書形式の招待状の作成、参列者の宿泊予約、持ち込み品の登録、衣装合わせ及びヘアメイクリハーサルの予約、エステの予約や料理、飲み物及び引き出物の予約、写真、ビデオ、ブーケ、装花、キャンドル、ケーキ、両親への贈り物、席札及び/又は芳名帳の予約、音楽の登録、司会の登録等の多様な作業からなる。その他の内容としては、友人、知人への結婚式当日の画像配信、その他結婚に関する登録、例えば、新居、家具又は新婚旅行情報等の情報を含んでも良い。

【0015】

スケジュール管理部45は、専用ホームページの1つのコンテンツとして掲載されるスケジュールデータの内容の更新をなすと共に、スケジュールデータに含まれていた行動予定すなわち作業の予定の実行に伴ってその実績を当該スケジュールデータに反映する。また、スケジュールの進捗、行動予定の消化に応じて専用ホームページの掲載コンテンツの内容を変更する機能を有する。これにより、顧客は、結婚式、披露宴の準備のためのスケジュール、例えば、結婚式場所への訪問日、各種予約の締切り等スケジュールを表示されるスケジュールデータから確認することができる。また、スケジュールの進捗に応じて適切に変更された表示コンテンツから必要な手続き、例えば、役所への手続きや引越しの手続きなどを確認することができる。尚、当日のスケジュール一覧、例えば結婚式当日の式場入り、挙式、披露宴に至るまでの時間単位のスケジュールを表示しても良い。また、結婚式場の提供する結婚式以外の各種サービス、食事、二次会の場所等の情報も表示するようによっても良い。これらの情報に関わるサービスは、顧客が端末10aを介して希望するサービスを選択することにより実現される。

【0016】

費用管理部46は、専用ホームページを介してなされる様々の業者との間で取引により発生した費用をひとまとめに管理する機能を提供する。業者との取引の例としては、先に述べた多様なサービス内容に応じて、顧客と業者との間でなした取引の費用を計上できるようにする。費用の計上は、通常、顧客が直接に費用画面のフォームに入力することにより登録する。更には、業者の端末或いはシステムとの連携により取引に応じて費用を自動的に計上するようによっても良い。費用に関連する情報としては、随時予約される商品名、数量、納期、明細及び合計金額が想定される。数量が明確になるまで時間のかかるもの、例えば料理や引き出物等は、想定される数値をフォームに入力し仮計算を行っても良い。

【0017】

図3は、結婚式・披露宴システムが保持更新するスケジュールデータの構成例を示している。スケジュールデータ471が顧客情報テーブル470に関連付けられて管理される。顧客情報テーブル470は、イベントの種別として結婚式である旨の情報と、新郎新婦の氏名、本イベントの開催場所、日時の情報、顧客の登録に応じて生成される専用ホームページ及びスケジュールデータ471のリンク情報、顧客の識別子（ID）及びパスワード、更に顧客に作業を督促する催告期間を指定する情報を含む。顧客情報テーブル470及びスケジュールデータ471は、顧客情報登録DB47（図2参照）に格納される。スケジュールデータ471は、顧客の結婚式、披露宴の挙行の日程に基づいて、挙行日より登録日までを逆算し、予め登録してある最適なスケジュールパターンを基にして当該顧客専用に推奨されるスケジュールとして生成される。

【0018】

図3に示される例において、スケジュールデータ471は、登録日（7月1日）から挙行日（9月20日）までの各日に対応する日データD1乃至Dm（mは正数）からなる。日データD1乃至Dmの各々には、対応する日付と共に、その日における登録済みの予定情報及び実績情報と、関連するサービスのコンテンツに関連付けるためのリンク情報を含む。このリンク情報により結婚式場共通情報DB48及び音楽・画像配信配信DB49に含まれるコンテンツとが関連付けられる。コンテンツの内容としては、ホテル予約等の業

10

20

30

40

50

者によるサービスを提供するためのサービスコンテンツと、新居探しサービスに関連する不動産の写真の如き画像コンテンツや結婚式録画サービスによる音声コンテンツの如き様々のコンテンツを関連付け得る。複数のサービスコンテンツには、更に費用管理画面473に関連付けられて、予定又は実績の費用が計上されるようにされても良い。費用管理画面473の情報は、顧客情報テーブル470及びスケジュールデータ471と共に顧客情報登録DB47(図2参照)に格納される。

【0019】

日データD1乃至Dmの各々における登録予定情報及び実績情報には、当該行動の進捗に応じてその未完、作業中、終了等の状態情報が設定更新される。これにより、ある現在日時において、作業が未完であるすなわち予定又は作業中の作業を探索し、更に対応するリンク情報からサービス等のコンテンツを探索することができる。例えば、図示されるように、日データD1の7月6日の時点で日データD3の7月27日の招待状発送の予定が探索され、招待状発送の予定に対応する発信用リンクから招待状の発送に関連する幾つかのサービスコンテンツを特定することができる。かかる日データにおける予定実績の内容が日時の進展と共に変更されることで、専用ホームページに表示されるコンテンツの内容は時間と共に動的に変更されることになる。尚、コンテンツへの関連付けすなわちリンクは、特定のサイトアドレスを指定する方法、画像ファイル、音声ファイル又はHTML文書ファイルを参照する方法等の多様な形態で実現され得る。

10

【0020】

図4は、結婚式・披露宴システム40における基幹的な処理手順を示している。本図の処理手順について図1及び図2に示される構成要素を適宜参照して説明する。

20

【0021】

先ず、結婚式・披露宴システム40は、顧客からの要求に応じて、顧客のシステムへの登録を行う(ステップS1)。この登録は、結婚式場の担当者がその端末50により、顧客の結婚式、披露宴の挙行の日程を入力することで、挙行日より登録日までを逆算し、予め登録してある最適なスケジュールパターンにあてはめ、当該顧客専用に推奨されるスケジュール生成してこれを当該顧客のIDと対応付けて顧客情報登録DB47に保存する。推奨スケジュールデータには、例えば、結婚式・披露宴の挙行準備の締切り、役所への手続き、引越しの手続きなど結婚をするにあたり必要な作業のスケジュール予定を設定する。

30

【0022】

次に、結婚式・披露宴システム40は、以上の如き顧客の希望する式の日時を目標日時とする推奨されるスケジュールを含む専用ホームページを配信する(ステップS2)。顧客は、端末10aを介してこの専用ホームページを閲覧することで、スケジュール及び予定行動を確認することができる。専用ホームページの閲覧は、参列者、その他の知人を含む第三者も端末10b又は10c介して閲覧することができる。この閲覧は、当該専用ホームページに適切なパスワードを設けることにより参列者、その他の知人にのみに限定的に許可するようにしても良い。

【0023】

次に、結婚式・披露宴システム40は、顧客がこのスケジュールを変更したい場合に備えて変更の有無を判定する(ステップS3)、もし顧客の個別希望がある場合には、これをスケジュールデータに反映する(ステップS4)。これに応じて、顧客の個別希望を反映した更新スケジュールデータと、対応して推奨するサービスコンテンツをメニュー表示する形で専用ホームページを更新する(ステップS5)。

40

【0024】

次に、結婚式・披露宴システム40は、顧客の行動入力があるか否かを判定する(ステップS6)。もし、特定の行動としてサービスを要求する場合には顧客はこれを指定することで、特定のサービス、すなわちサービス1乃至サービスn(nは正数)の何れを実行する(ステップS7)。サービスの種類としては、例えば、打ち合わせの予約、参列者の登録、参列者の出欠管理、封書形式の招待状の作成、参列者の宿泊予約、持ち込み品の登

50

録、衣装合わせ及びヘアメイクリハーサルの予約、エステの予約や料理、飲み物及び引き出物の予約、写真、ビデオ、ブーケ、装花、キャンドル、ケーキ、両親への贈り物、席札及びノ又は芳名帳の予約、音楽の登録、司会の登録等の多様なサービスが想定される。

【0025】

次に、結婚式・披露宴システム40は、当該サービスの実行の結果に基づいて費用予定実績管理を行う(ステップS8)。費用予定実績管理は、顧客が費用画面のフォームに入力することにより登録しても良いし、好ましくは当該サービスの業者システムとの連携によりサービスの内容に応じて自動的に費用を計上するようにする。

【0026】

一方、ステップS6において、顧客が特定の行動としてサービスを要求しない場合には、結婚式・披露宴システム40は予定期日のチェックを行う(ステップS9)。すなわち、現在日時がスケジュールデータにおけるタイムラインのどの時点にあるか監視する。そして、現在日時が何らかの行動予定の日時と比較して期近にあるか否か及びノ又は徒過しているか否かを判定する(ステップS10)。もし、予定の日時に所定時間(催告日時)だけ迫っている場合には、専用ホームページに行動を促す催告データを含む表示をなすか或いは顧客又は参列者等の端末10a乃至10cに向けて行動を促す催告データを含むメールを送信する(ステップS11)。

10

【0027】

結婚式・披露宴システム40は、以上の処理の結果として、行動の予定実績(未完、作業中、終了)をスケジュールに反映し、実績内容に依存する新たなコンテンツに専用ホームページの内容を更新する(ステップS12)。専用ホームページの内容の更新は、スケジュールデータにおける予定実績の内容が作業の進展とを共に変更されることにより実現される。

20

【0028】

図5は、結婚式・披露宴システムが提供するスケジュール画面の変化の様子を説明している。この例では図の上に表示される画面63は、7月18日に表示される画面例であり、下に表示される画面63'は7月31日に表示される画面例を示している。両方の画面における現在日時は、カレンダー表示における太枠で各々示されている。画面63の7月18日の画面例では、7月21日に予定される招待状の送付が差し迫って予定されることから、顧客に対して招待状の準備を促すメッセージが表示されると共に、招待状準備に関連するサービスのコンテンツに連結されるリンク情報が表示される。一方、画面63'の7月31日の画面例では、翌月の月20日の結婚式に迫っていることから、顧客に対して結婚式当日の準備を促すメッセージが表示されると共に、結婚式当日に関連するサービスのコンテンツに連結するリンク情報が表示される。

30

【0029】

図6は、結婚式・披露宴システムが提供する費用管理画面473の例を示している。費用管理画面473は、当該顧客の専用ホームページのコンテンツの一部として表示される。この画面フォームを通して、顧客は多様なサービスに基づく取引の結果を登録する。費用管理画面473は、登録した商品の製品名・数量・金額などが一覧に表示される。顧客は、この画面の一覧に表示されている合計金額により費用の予想をなすことができる。尚、数量が空欄になっている引き出物などは、予想数値を入力することにより算出をするようにしても良い。好ましくは、引き出物や料理、飲み物など、参列者が決まらなると数量が確定しないものは数量の登録はしないようにして、システムが自動的に算出するようにしても良い。また、参列者等の関係者から頂戴するご祝儀の概算を仮計算し、最終的に過不足があるかどうかを確認するようにしても良い。

40

【0030】

図7は、本実施例において顧客が業者との間でサービスの提供を受ける運用手順を示している。この運用手順は、結婚式を招待状に関わる1つのサービスとして利用する場合を例にして示している。本図の運用手順について図1及び図2に示される構成要素を適宜参照して説明する。

50

【0031】

先ず、顧客は端末10aより結婚式当日に出席して欲しい参列者の氏名、住所、新郎新婦との関係、メールアドレス、封書又はメール形態の如き招待状の送付形態を入力することで、参列者リスト形式の参列者情報を顧客情報登録DB47に登録する(ステップS21)。次いで、顧客は端末10aより招待状の文面の作成し、招待状の用紙、封筒を顧客情報登録DB47に登録する。この場合、結婚式場共通情報DB48に含まれる標準的な招待状の文面のフォーマット情報、招待状の用紙、絵柄等の封筒の種類が顧客に提示されることで、顧客はこれを基にして任意の文面を作成することができる。次いで、顧客は、招待状の作成を正式に指示する(ステップS22)。この際に、登録された参列者リストより、封書用リストに該当する分の宛先と名前の印刷、招待状の文面の印刷が顧客情報登録DB47に登録される。

10

【0032】

次に、結婚式場の担当者は、端末50を用いて顧客の登録内容を確認し、該当する業者にメールで連絡を入れることで業者に発注する(ステップS23)。この業者への発注は、メールによる方法のみならずWebの画面を介してなされても良い。これにより業者は端末20bにより情報を確認する。次いで、業者は納期を端末20bにより顧客情報登録DB47に登録することで、納期を連絡する(ステップS24)。これを結婚式場の担当者は端末50により確認し、次いで、商品名、数量、金額を端末10aの費用計算一覧に表示することで発注情報を登録し、納期をメールで顧客に連絡する(ステップS25)。これらの情報は、好ましくは顧客専用ページにも表示される。

20

【0033】

この連絡に従って、顧客は参列者に招待状を、郵送又は手渡しなどにより送付する(ステップS26)。次いで、顧客は参列者に出欠の問い合わせを行うことで、招待状の返信を受ける(ステップS27)。この出欠に基づいて顧客は、端末10aにある参列者一覧にその出欠を入力することで、顧客情報登録DB47に出欠情報を登録する(ステップS28)。次いで、顧客は、端末10aより招待メールの文面の作成しメール送付の日時を顧客情報登録DB47に登録する。更には出席登録用のWeb画面のフォーマットを選定し、そこに掲載する文面、掲載画像を顧客情報登録DB47に登録する。Web画面のフォーマットは、結婚式場共通情報DB48の標準的な内容から表示される(ステップS29)。

30

【0034】

次に、結婚式場の担当者は、顧客の登録内容を端末20bで確認し、顧客情報登録DB47に招待メールの配信を登録する(ステップS30)。次いで、結婚式場より参列者にURLとID及びパスワードの記載された招待メールを送付する(ステップS31)。一方、参列者は端末10bによりアクセスして、招待状の内容を確認し、出欠の入力をする。顧客は、この登録情報を参列者一覧の形で端末10aを介して確認できる。以上の運用により、招待状に関わる一連の仕事を顧客は自己の端末操作によってのみ終わらせることができる。

【0035】

尚、運用手順の例として、招待状印刷に関わる運用について説明されたが、打合せの予約、持ち込み品の登録、参列者の登録、席次表の作成、衣装合わせ及びヘアメイクリハーサルの予約、エステの予約や料理、飲み物及び引き出物の予約、写真、ビデオ、ブーケ、装花、キャンドル、ケーキ、両親への贈り物、席札及び/又は芳名帳の予約、音楽の登録、司会の登録、友人、知人への結婚式当日の画像配信或いは音楽配信、参列者の宿泊施設の予約等の多様な運用も同様の手順により実行され得る。

40

【0036】

以上の実施例においては、結婚式及び披露宴の挙行を予定する顧客を対象として、結婚式当日に向けた様々な作業をインターネットのサイトを通して提供する結婚式・披露宴システムが本発明によるイベント情報提供システムの1つの実施例として開示された。この結婚式・披露宴システムの実現により、結婚式及び披露宴の挙行を予定する顧客は、結婚

50

式に関連する多様なサービスをその都度結婚式場に出向いて担当者と打ち合わせをすることなく受けることができる。また、結婚式の準備から挙式に至るスケジュールを含む一連の情報が専用ホームページの形で網羅的に提供される。この専用ホームページを介して、顧客、結婚式担当者、参列者等の関係者全体が結婚式の情報を共有することを可能として各々の役割に応じた連携が容易となる。また、専用ホームページは、スケジュールの進展にともない顧客を適切にナビゲーションするように更新されることで、挙式に至る諸々の行動をより効率的に遂行することができる。

【0037】

尚、本実施例においては、1つの顧客について1つの結婚式等のイベントについて説明されたが、本発明によるイベント情報提供装置及びシステムは、当然に複数の顧客について複数のイベントを処理することが想定されている。

10

【産業上の利用可能性】

【0038】

本発明によるイベント情報提供装置及びシステムは、実施例の如き結婚式、披露宴の場合に限られず、様々なイベントに関連する情報を提供するシステムに提供可能である。

【図面の簡単な説明】

【0039】

【図1】本発明の実施例であり、結婚式・披露宴システムを含むシステム全体の構成を示しているブロック図である。

【図2】図1に示される結婚式・披露宴システムの詳細の構成を示しているブロック図である。

20

【図3】結婚式・披露宴システムが保持更新するスケジュールデータの構成例を示している図である。

【図4】結婚式・披露宴システムにおける基幹的な処理手順を示しているフローチャートである。

【図5】結婚式・披露宴システムが提供するスケジュール画面の変化の様子を説明する説明図である。

【図6】結婚式・披露宴システムが提供する費用管理画面の例を示している図である。

【図7】本実施例において顧客が業者との間でサービスの提供を受ける運用手順のフローチャートである。

30

【符号の説明】

【0040】

10 a乃至10 c、20 a乃至20 c、50 端末

20 a、20 b 業者端末

30 インターネット

40 結婚式・披露宴システム

41 ファイアウォール

42 Webサーバ

43 メールサーバ

44 顧客登録部

45 スケジュール管理部

46 費用管理部

47 顧客情報登録DB

48 結婚式場共通情報DB

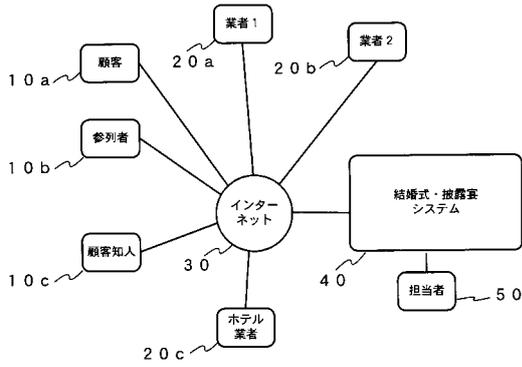
49 音楽・画像配信DB

50 担当者端末

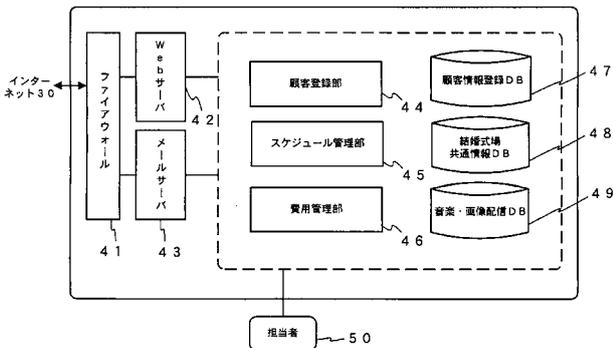
471 スケジュールデータ

40

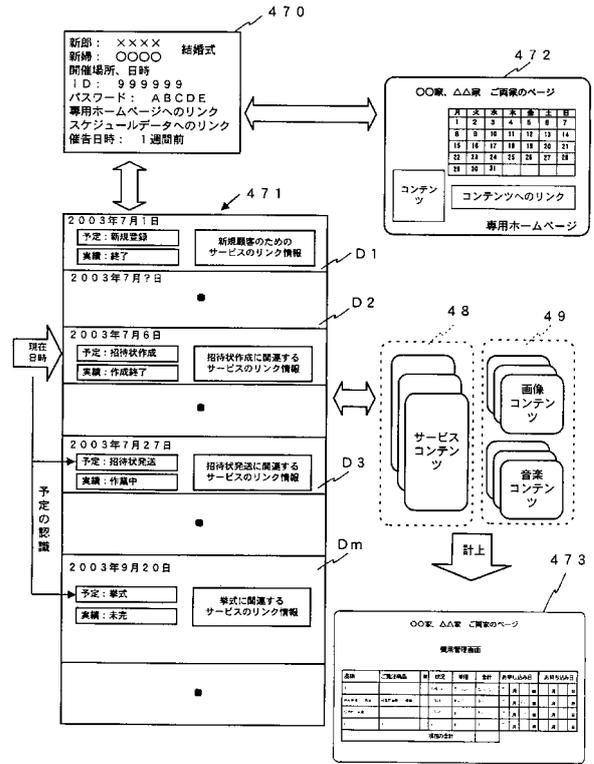
【図1】



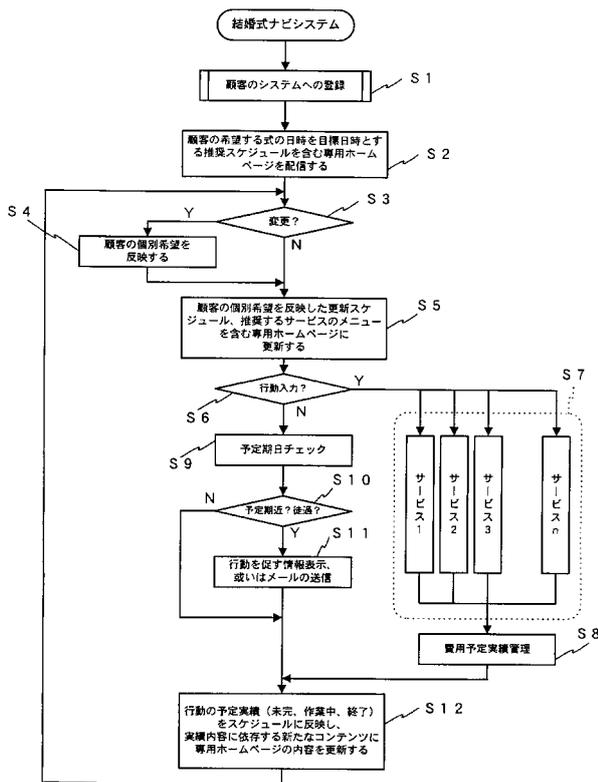
【図2】



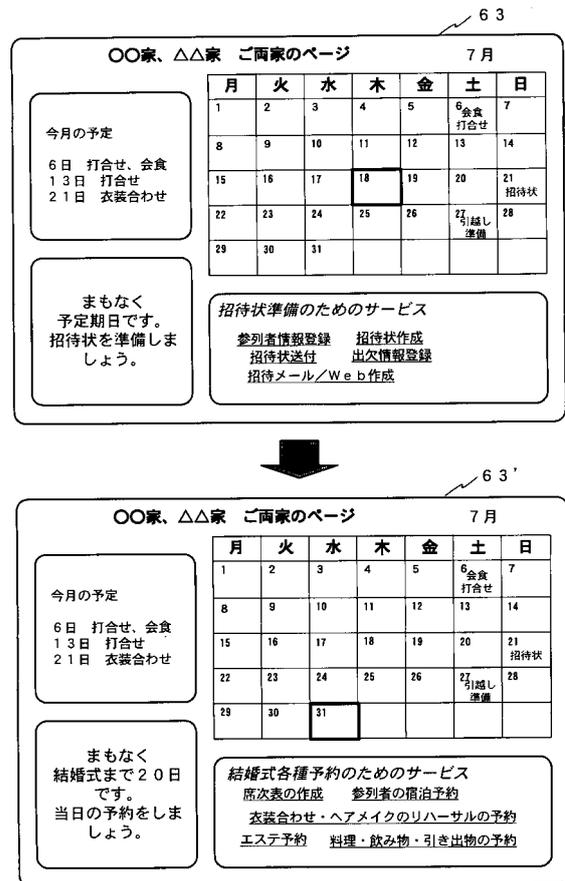
【図3】



【図4】



【図5】



【 図 6 】

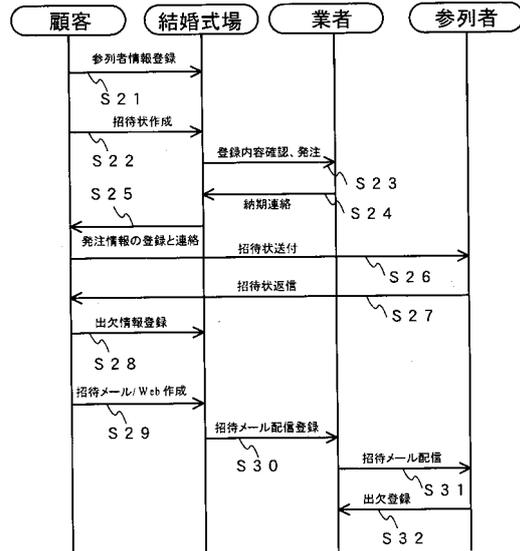
473

〇〇家、△△家 ご両家のページ

費用管理画面

品物	ご発注商品	数	状況	単価	合計	お申し込み日			お持ち込み日				
ドレス	-	1	お持ち込み	50,000	50,000	7	月	1	日	9	月	10	日
新郎新婦のご宴会	結婚式当日のご宴会	1	ご予約	50,000	50,000	7	月	20	日	-	月	-	日
招待状の発送	-	50	未注	1,000	50,000	7	月	20	日	8	月	1	日
料理	Aコース	50	予約	50,000	2,500,000	7	月	20	日	-	月	-	日
現在の合計					2,650,000								

【 図 7 】



フロントページの続き

- (72)発明者 山中 修
東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内
- (72)発明者 徳江 浩之
東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内